

高速誤り訂正装置

BCH 符号および自己直交畳込み符号の特性を研究し、その成果に基づきインテルサットより受託研究を受注、1978 年（昭和 53）、高速誤り訂正装置を開発した。この高速誤り訂正装置は BCH 符号を用いて、誤り訂正と検出を行うもので、インテルサット TDMA の高速な伝送速度で動作可能である。この方式はインテルサット TDMA の仕様に採用された。

出典：KDD 社史